

船舶事故調査報告書

平成30年7月4日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 佐藤 雄二（部会長）
 委員 田村 兼吉
 委員 岡本 満喜子

| | |
|---|--|
| 事故種類 | 火災 |
| 発生日時 | 平成29年12月15日 21時00分ごろ |
| 発生場所 | 北海道函館市大鼻岬 ^{おおほな} 南南西方沖 葛登支岬 ^{かっとうし} 灯台から真方位161° 5.9海里（M）付近 （概位 北緯41° 38.9′ 東経140° 38.5′） |
| 事故の概要 | 漁船第七十晴吉丸 ^{はるよし} は、操業中、船員室付近から火災が発生した。 第七十晴吉丸は、消火作業中に沈没した。 |
| 事故調査の経過 | 平成29年12月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 |
| 事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等 | 漁船 第七十晴吉丸、9.1トン HK2-18880（漁船登録番号）、個人所有 14.18m（Lr）×3.66m×1.56m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数120、昭和55年2月10日 |
| 乗組員等に関する情報 | 船長 男性 36歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成12年2月10日 免許証交付日 平成26年5月28日 （平成32年2月9日まで有効） |
| 死傷者等 | なし |
| 損傷 | 船員室、機関室等に焼損、沈没（全損） |
| 気象・海象 | 気象：天気 小雨、風向 西、風力 2、視界 良好 海象：波高 約0.5m |
| 事故の経過 | 本船は、船長が1人で乗り組み、平成29年12月15日17時00分ごろ大鼻岬南南西方沖の漁場で漂泊して操業を開始した。 船長は、漁模様が悪いので、30分程度仮眠しようと考え、船内を見回りした後、20時30分ごろ、集魚灯を点灯し、いか釣り機を稼働させたまま操舵室の床に座り、壁にもたれかかった姿勢で眠り始めた。 船長は、21時00分ごろ、ゴムが焼けたような臭いで目が覚め、操舵室を出ると、仮眠前から開いていた船員室船尾側の扉から黒煙が出ているのを発見し、船員室の中に火災が発生しているのを認めた。 |

| | |
|---|---|
| | <p>船長は、操舵室に戻って僚船に無線で火災が発生した旨を連絡し、集魚灯を消灯して主機の回転数を下げた後、前部甲板に備え付けてある散水ポンプで船員室内の火災を消火しようとしたとき、主機が停止し、散水ポンプが主機駆動の発電機からの給電で駆動するものであったので、使用できなくなった。</p> <p>船長は、海上保安庁及び僚船に携帯電話で救助を求め、21時15分ごろ来援した僚船に移って救助された。</p> <p>本船は、巡視船による消火作業中、23時45分ごろ沈没した。 (付図1 事故発生場所概略図 参照)</p> |
| その他の事項 | <p>本船は、船体中央付近に操舵室が設けられ、その後方に機関室の出入口及び船員室が順に配置されており、操舵室下方が機関室になっていた。</p> <p>船員室には、中央の通路を挟んで両舷に1台ずつ寝台が設置され、布団や衣類などが置かれているほか、後部に主機始動用のバッテリーが設置されており、作業中は無人であった。</p> <p>船員室船尾側の区画には、集魚灯用の安定器が設置されていた。</p> <p>本船は、機関室出入口の船尾側の壁に自動拡散型の消火装置1個が設置されていたが、小型船舶用の消火器等は備え付けられていなかった。</p> <p>船長は、平成26年5月に本船を中古で購入し、定周波装置を交換していたが、それ以外の航海計器、集魚灯及びいか釣り機等の電気機器及び電気配線は、購入時に設備されていたものをそのまま使用していた。</p> <p>船長は、火災発生後も主機の運転状態が正常であったので、出火元は機関室ではなかったと本事故後に思った。</p> |
| 分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析 | なし あり なし 本船は、大鼻岬南南西方沖で作業中、船員室付近から出火したものと考えられるが、本船が沈没しており、出火に至った状況を明らかにすることはできなかった。 |
| 原因 | 本事故は、夜間、本船が、大鼻岬南南西方沖で作業中、船員室付近から出火したものと考えられる。 |
| 再発防止策 | 今後の同種事故等の再発防止及び被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 機関区域及び居住区域には、持運び式の小型船舶用の消火器等を備え付けること。 |

付図1 事故発生場所概略図

